

令和8年1月29日

各報道機関 御中

企画総務部総務広報課長

**第8回日本オープンイノベーション大賞に  
工学部・川末 紀功仁教授らのグループがノミネートされました**

この度、2026年2月9日に虎ノ門ヒルズフォーラム4階において開催される、内閣府主催の第8回日本オープンイノベーション大賞授賞式において、工学部 川末紀功仁 教授、Khin Dagon Win 特別助教、農学部 徳永忠昭 准教授、医学部 金子政時 教授、日本ハム株式会社中央研究所からなる研究グループが、ノミネートされましたので、お知らせいたします。

審査において、家畜や新生児に対して接触や拘束を必要としない身体計測技術を確立し、現場での実証を重ねながら、社会実装に向けて発展させてきた点が、分野横断的な知の融合による新しい価値創出の好例として高く評価されました。

報道機関各社様におかれましては、下記のとおり授賞式は現地開催とオンライン配信を併用した形式で行われますので、当日の現地参加もしくはオンライン配信の視聴をご希望の場合は、以下のリンクよりご登録いただくとともに、授賞式前後の個別の取材についてもご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

イベント名：第8回日本オープンイノベーション大賞授賞式

日時：2026年2月9日（月）16:00～20:30 ※受賞者発表は17:30～（予定）

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム ホールB（東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー4階）

業績名：スカブター：AI・AR技術による非接触型体重推定デバイスの社会実装

その他：表彰式の様子は、Web配信されます。

下記内閣府HPリンクをご参照の上、参加申し込みフォームよりご登録ください。

（1月30日（金）23時59分登録締切り）

内閣府HP

<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/2025.html>

以上

## 開発の背景

本取組（スカブター：AI・AR技術による非接触型体重推定デバイスの社会実装）は、工学分野における非接触3D画像計測およびAI・AR技術を基盤として、農学分野の畜産現場における体重計測の課題に取り組むとともに、医療分野における新生児の身体測定にも応用してきた、農・工・医の異分野連携による研究です。本研究グループは、工学的な計測技術の高度化に加え、畜産現場および医療分野への応用研究を継続的に実施してきました。さらに、日本ハム株式会社中央研究所との共同研究においては、本技術を応用したシステムの有効性検証を進めるとともに、畜産現場を対象とした社会実装にも取り組んでいます。

## 日本オープンイノベーション大賞について

イノベーションの創出を巡る国際的な競争が激化する中で、研究開発等の成果を迅速に社会実装し、社会的ニーズの解決や新たな価値の創造につなげることが大きな課題となっています。そのための方法として、産官学の組織の壁を越えて知識や技術、経営資源を組み合わせた新しい取組みを推進するオープンイノベーションが注目されています。

こうした状況を踏まえ、日本のオープンイノベーションを更に推進するために、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取組みを「日本オープンイノベーション大賞」として表彰しています。

第8回日本オープンイノベーション大賞について（内閣府）

<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/2025.html>

## **【プロジェクト関係者リスト】**

- ・工学部 教授 川末 紀功仁
- ・工学部 特別助教 Khin Dagon Win
- ・医学部 教授 金子 政時
- ・農学部 准教授 徳永 忠昭
- ・日本ハム株式会社 中央研究所 助川 慎

研究に関する問い合わせ先

工学部 教授 川末 紀功仁

TEL：0985-58-7583 MAIL：kawasue@miyazaki-u.ac.jp

発信元

宮崎大学企画総務部総務広報課広報係

TEL：0985-58-7114 MAIL：kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp